大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 株式会社乃村工藝社 御名前 松浦 竜太郎 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非するべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

●心が満たされるおもてなし

・疲れない万博に。

心が豊かな状態でないと、創造力や吸収力も低下する。

そのため、限られた時間で有意義な時間を過ごせるように、様々な疲れない工夫を。

・待ち時間を過ごせる場の計画。

待たせないシステム構築は可能であろうが、パビリオンのキャパシティは限られるので、 次々とスムーズにパビリオンを巡回することはできない。

そこで、次の入館まで待ち時間を過ごす場と仕掛け・室礼を設ける必要がある。

(ミラノ万博では、どこの飲食店やベンチも人で混みあい、寛げるスペースが少なかった)

●自然を愛でる環境

- ・日本の四季の豊かさを、世界の人と共有できる仕掛けづくりを期待。
- ・花や緑の香り、日本の四季を体感できる植栽計画 ⇒バイオフィリックデザインにも繋がる 脳の活性化、想像力の促進、幸福度の向上、癒し効果などが望まれる。
- ・暮らしが四季に根づき、四季と共に生きる文化であることを紹介。 長寿とも深い関わりがある食文化と、日本食が旬の素材を生かす健康食であることをアピール。

●万博後も持続可能な集いの場

- ・賑わいの記憶を活かし、その後も人が集う場に。
- ・例えば、海上の近未来型植物園を設けることを期待。 ⇒周辺の自然環境と調和した場に。子供たちの教育にも寄与。
- ・離散型会場計画であれば、植物園などに転用しやすいし、拡張も可能。

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例:最先端技術の実証、SDGs 達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- ●最新テクノロジーと連動させた、身体的で豊かな実体験をともなうコンテンツ
- ・映像などバーチャルな世界は現実感に乏しいので本質が伝わりにくく、

中身に対しての感動が残りにくい一面がある。

- 一方で物に触れるなど身体的に体験・体感したことは、脳や心に響き、記憶に残りやすい。
- 子供から老人まで理解できる、創造性豊かで分かりやすい体験型コンテンツを期待。
- ・最新テクノロジーのみに頼りすぎると、パビリオンの手法が近似し個性が出にくくなる。
- ・映像のように組み立てられたストーリーに沿うだけの受動的なコンテンツではなく、 意識に働きかけ、能動的な思考や感性を誘う計画を導入し、見て、感じて、考える豊かさを体 感してもらいたい。

●世界に誇る日本の伝統工芸との融合

- ・作家や職人による伝統工芸作品を、建築・パブリックなど会場に織り交ぜて計画。
- 伝統工芸の実演

先人から受け継ぎ、継承し続けている日本の職人技は、世界中の人が注目している。 滞在時間を伝統でおもてなしし、日本の魅力をお持ち帰りしていただく。

● 体感し、考える、バーチャルパビリオン

- ・SNS 上で、世界中の人がアクセスできるパビリオンを計画。 バーチャルで構築した世界の中で、喜びや楽しみを共有しつつも、最終的にはフィジカルに 落としていく仕掛けを模索。
- 3. <u>会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。</u> (例:会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)

●ランドスケープの充実

- ・丘、くぼみ、段上など、様々な地形をつくる。
- ・心豊かな時間を、多種多様な目的で過ごせるようなパブリックスペースの場づくり。 憩い、ピクニック、プレゼンテーション、パフォーマンス、子供の遊び場、 祭りの催し、日本食の試食、展望台、コミュニケーション、パビリオン待ち など
- ・複数のランドスケープデザイナーによる、様々な地形の創造。

●モバイルアーキテクチャの販売、もしくはレンタル

- ・ワンタッチで組み立てる、オリジナルテントを導入(使用できる場所を限定)。
- ・来場者一人ひとりが安らぐ、自分の居場所をつくることが可能。
- ・オリジナルカラーのカラフルなテントが風景をつくり、それが変化し続け、 万博の景色をつくる。

●「ハートジェニック」なスポットを多数計画

- ・単なる撮影スポットではなく、心にどう焼き付けるかに主眼を置いた場づくり。
- ・世界へ喜びを分け合う ⇒ 笑顔が拡散し、幸せかつ豊かな心で世界を満たす工夫を。
- ・待ち時間を楽しく過ごす仕掛けの一つとしても、効果を期待できる。

●水路・水辺の整備

- ・足湯や足水を通じた憩いの場。 疲れをとる足湯や、足を冷やすことができる足水として憩いの場に。暑さ対策にも。
- ・橋を特徴的なデザインとし施設案内としてのアイコンに(八百八橋、大阪文化へのオマージュ)。
- 4. そのほか、御自由に御意見をお願いします。